

市民大学ディベート講座

6月26日～7月17日 文教大学人間科学部の青山鉄兵教授をお招きして、全4回のディベート講座を実施しました。

第1試合「男女別学を存続させるべきか、否か」



肯定側の立論



否定側の立論

内容について

第1回で「ディベートとは何か」と、「ディベートで大切なこと」を学びました。第2回でテーマを決め、第3回を準備に当て、第4回でディベート本番。テーマは、第1試合「公立高校の男女別学を存続させるべきか、否か。」：第2試合「一定の年齢になったら自動車免許の返納を義務化すべきか、否か。」各班が立論、反論、最終弁論と演壇に立ち、正々堂々、聴き応えのある白熱した討論が展開されました。ジャッジには卒業生も加わり、論点・論拠・構成・話し方の視点で行なわれ、両試合共に、否定側の4班と1班の勝利となりました。



作戦タイム



挙手によるジャッジ

参加・受講しての感想

私達は「公立高校の男女別学を存続させるべき」との主張を行いました。テーマを決定する際でも悩みましたが、実際に図書館に足を運んだり、膨大なアンケート結果や新聞記事を読み込むのは大変でした。当事者の学生に寄り添う気持ちは強かったのですが、班で論点を整理し主張をまとめるのも一苦勞でした。結果は敗者となりましたが、授業で学んだ「勝敗より大切なのはプロセス」を思い出し、「やるべきことは出来た」との想いが溢れ、「いい経験になった」と満足しております。ジャッジも行いましたが、勝敗を判定するのは、甲乙つけ難く、悩ましいと感じました。周りの方も同じだったのではないのでしょうか。